

～ 第1回から第4回「プレミアムフライデー」意識調査 ～

過去4回の「プレミアムフライデー」で早帰りに関わらず “普段の週末にはできない過ごし方”が出来たと約4割が回答

2人に1人が今後の「プレミアムフライデー」に “ちょっと豊かな時間”を過ごしたいと前向き回答

2017年2月24日(金)から始まった「月末の金曜日は、早めに仕事を終えて豊か・幸せに過ごす」という新しいアクション「プレミアムフライデー」。プレミアムフライデー推進協議会事務局は、第5回目の「プレミアムフライデー」を前に、第1回から第4回を振り返りアンケート調査を行いました。

過去4回の「プレミアムフライデー」に関する一般の方を対象にした意識調査となります。今後の取材の情報としてお役立ていただければ幸いです。

【発表内容サマリー】

① 認知・理解度

「プレミアムフライデー」の認知率は、約9割。
約半数が「プレミアムフライデー」について“賛成”と回答。

② 参加実態

過去4回の「プレミアムフライデー」で約4割の人が、いつもより早く帰ったかに関わらず、“普段の週末にはできない過ごし方”が出来たと回答。

③ 参加内容

「プレミアムフライデー」の過ごし方のトップ3は、「家でゆっくり過ごした」、「外食・お酒を飲みに行った」、「買い物」。家での過ごし方としては、「趣味や娯楽」、「家族と一緒に過ごした」が多い傾向。

④ 参加意向

5割以上の方が、今後の「プレミアムフライデー」に、いつもより早く帰れるかに関わらず、“ちょっと豊かな時間”を過ごしたいと回答。性別・年代別では、参加意向が最も高いのは20代女性で7割超。男女比でも女性の方が多い。

⑤ 導入実態・意向

23.7%の人が「プレミアムフライデー」の導入を希望。「働き方改革」の取り組みとしては、「プレミアムフライデー」の導入率が第3位に。

【本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ先】

プレミアムフライデー推進協議会事務局

E-mail: info_pf@ozma.co.jp

「プレミアムフライデー」一般人意識調査 結果

調査概要

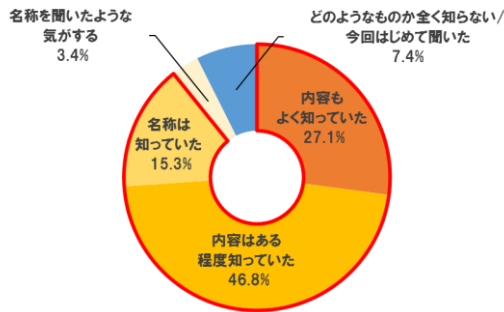
- 調査対象 全国(47都道府県)の20~50代有職者(有効回答数2,015人)
※正規の社員・職員のほか、非正規社員も含める
※全国の有職者(勤め人)の都道府県別の性・年代構成をベースに、サンプルを割付
- 調査方法 インターネットアンケート調査
- 調査主体 プレミアムフライデー推進協議会事務局
- 調査期間 2017年6月15日(木)

【「プレミアムフライデー」への認知・理解度】

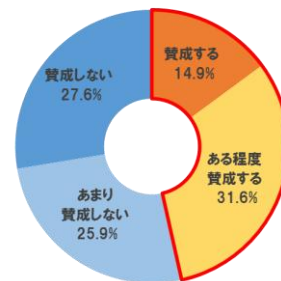
**「プレミアムフライデー」の認知率は、約9割。
約半数が「プレミアムフライデー」について“賛成”と回答。**

約9割(89.2%)の人が「プレミアムフライデー」について知っており、約半数(46.5%)の人が、“賛成する”もしくは“ある程度賛成する”と回答。**第1回から第4回の「プレミアムフライデー」を通じて、認知・賛成共に高水準を維持している。**

Q.あなたは、「プレミアムフライデー」をご存知でしたか？(SA) n=2,015(全体)



Q.あなたは、「プレミアムフライデー」についてどのように思いますか？(SA) n=2,015(全体)

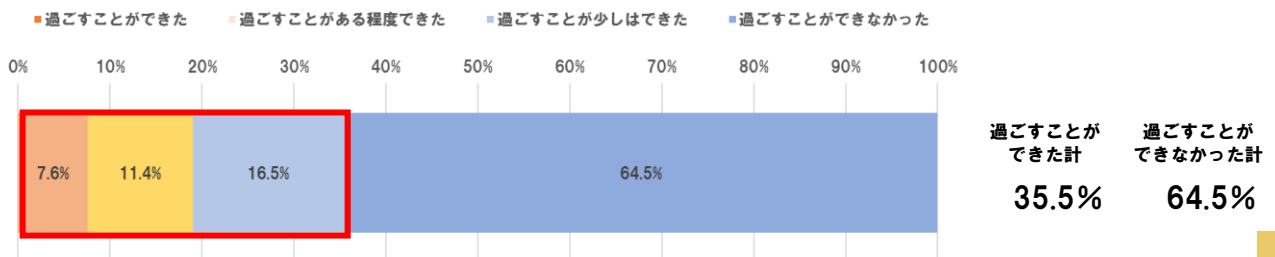


【「プレミアムフライデー」への参加実態】

過去4回の「プレミアムフライデー」で約4割の人が、いつもより早く帰ったかに関わらず、“普段の週末にはできない過ごし方”が出来たと回答。

第1回から第4回の「プレミアムフライデー」を通じて、35.5%の人がいつもより早く帰った(退社した)かどうかに関わらず、“普段の週末にはできない過ごし方”が出来たと回答。**約4割の人が「プレミアムフライデー」に普段はできない豊かな体験をしていることがうかがえる。**

Q.あなたは、これまでの「プレミアムフライデー」の日に、いつもより早く帰った(退社した)かどうかに関わらず、**普段の金曜も含めた週末にはできない過ごし方ができましたか？(SA)** n=2,015(全体)



【「プレミアムフライデー」の参加内容】

「プレミアムフライデー」の過ごし方のトップ3は、「家でゆっくり過ごした」、「**外食・お酒を飲みに行った**」、「**買い物**」。家での過ごし方としては、「**趣味や娯楽**」、「**家族と一緒に過ごした**」が多い傾向。

「プレミアムフライデー」の具体的な過ごし方を聞いたところ、「家でゆっくり過ごした」がトップ。次いで、「外食・お酒を飲みに行った」、「買い物」が続いた。家での過ごし方では、「自分の趣味や娯楽に時間を使った」、「家族と一緒に過ごす時間を増やした」、「食事や調理に時間をかけた」、「普段は買わない食べ物や飲み物を買って帰った」の順で多く、**いつもより”ちょっと豊か”に過ごした傾向が見える。**

Q.あなたは、これまでの「プレミアムフライデー」の日に、いつもより早く帰った(退社した)かどうかに関わらず、どのような過ごし方をしましたか。当てはまるものを全てお選びください。(MA) n=2,015(全体)

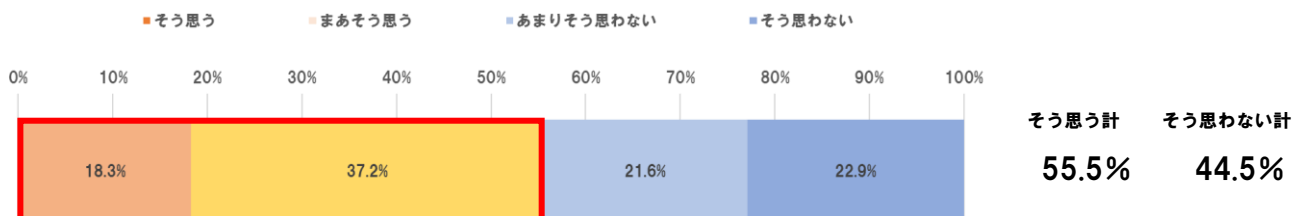
全体	20代	30代	40代	50代					
家でゆっくり過ごした (自分の趣味や娯楽に時間を使った)	31.8%	家でゆっくり過ごした (自分の趣味や娯楽に時間を使った)	35.8%	家でゆっくり過ごした (自分の趣味や娯楽に時間を使った)	31.2%	家でゆっくり過ごした (自分の趣味や娯楽に時間を使った)	32.5%	家でゆっくり過ごした (自分の趣味や娯楽に時間を使った)	28.2%
家でゆっくり過ごした (家族と一緒に過ごす時間を増やした)	13.4%	外食した	13.6%	家でゆっくり過ごした (家族と一緒に過ごす時間を増やした)	14.8%	家でゆっくり過ごした (家族と一緒に過ごす時間を増やした)	16.1%	家でゆっくり過ごした (家族と一緒に過ごす時間を増やした)	11.2%
外食した	10.7%	家でゆっくり過ごした (普段は買わない食べ物や飲み物を買って帰った)	11.7%	外食した	13.5%	外食した	9.8%	お酒を飲みに行った	6.4%
家でゆっくり過ごした (普段は買わない食べ物や飲み物を買って帰った)	7.8%	家でゆっくり過ごした (家族と一緒に過ごす時間を増やした)	10.8%	家でゆっくり過ごした (普段は買わない食べ物や飲み物を買って帰った)	7.6%	家でゆっくり過ごした (普段は買わない食べ物や飲み物を買って帰った)	7.5%	外食した	6.2%
お酒を飲みに行った	7.6%	お酒を飲みに行った	10.1%	買い物・ショッピング (食料品・化粧品・ファッション関連等)	7.4%	家でゆっくり過ごした (普段は買わない食べ物や飲み物を買って帰った)	7.3%	家でゆっくり過ごした (食事や調理に時間をかけた)	5.6%
買い物・ショッピング (食料品・化粧品・ファッション関連等)	6.1%	買い物・ショッピング (食料品・化粧品・ファッション関連等)	6.6%	お酒を飲みに行った	6.8%	買い物・ショッピング (食料品・化粧品・ファッション関連等)	5.6%	家でゆっくり過ごした (普段は買わない食べ物や飲み物を買って帰った)	5.4%
家でゆっくり過ごした (食事や調理に時間をかけた)	4.8%	スポーツを楽しんだ (スポーツクラブ・ジムなどのフィットネスやゴルフ、 社交ダンスなども含む)	4.4%	家でゆっくり過ごした (食事や調理に時間をかけた)	4.7%	家でゆっくり過ごした (食事や調理に時間をかけた)	4.7%	買い物・ショッピング (食料品・化粧品・ファッション関連等)	4.8%
スポーツを楽しんだ (スポーツクラブ・ジムなどのフィットネスやゴルフ、 社交ダンスなども含む)	2.9%	家でゆっくり過ごした (食事や調理に時間をかけた)	4.0%	スポーツを楽しんだ (スポーツクラブ・ジムなどのフィットネスやゴルフ、 社交ダンスなども含む)	3.8%	映画鑑賞・音楽鑑賞(コンサート等)・観劇	2.3%	スポーツを楽しんだ (スポーツクラブ・ジムなどのフィットネスやゴルフ、 社交ダンスなども含む)	1.8%
映画鑑賞・音楽鑑賞(コンサート等)・観劇	2.4%	近場の行楽スポットに出かけた (テーマパーク・美術館・博物館や温泉施設など)	2.8%	映画鑑賞・音楽鑑賞(コンサート等)・観劇	3.4%	スポーツを楽しんだ (スポーツクラブ・ジムなどのフィットネスやゴルフ、 社交ダンスなども含む)	1.9%	映画鑑賞・音楽鑑賞(コンサート等)・観劇	1.6%
国内旅行	1.7%	映画鑑賞・音楽鑑賞(コンサート等)・観劇	2.3%	国内旅行	2.2%	国内旅行	1.5%	国内旅行	1.4%

【「プレミアムフライデー」への参加意向】

5割以上の方が、今後の「プレミアムフライデー」に、いつもより早く帰れるかに関わらず、**”ちょっと豊かな時間”を過ごしたいと回答。**

55.5%の人が「プレミアムフライデー」の日に、いつもより早く帰れる(退社できる)かどうかに関わらず、**“ちょっと豊かな時間を過ごしたい”と回答。半数以上の方が「プレミアムフライデー」に“ちょっと豊かな”体験を期待していることがうかがえる。**

Q.あなたは今後、「プレミアムフライデー」の日に、いつもより早く帰れる(退社できる)かどうかに関わらず、**ちょっと豊かな時間を過ごしたいと思いませんか?**(SA) n=2,015(全体)

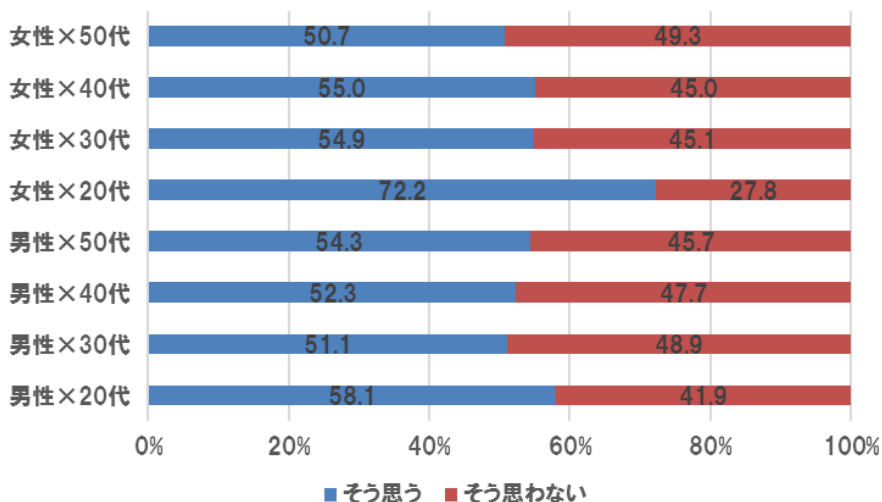


【「プレミアムフライデー」への参加意向】

性別・年代別で比較すると、参加意向が最も高いのは72.2%の20代女性。また、男女比でも女性の方が多い。

性別、年代別で比較すると、今後の「プレミアムフライデー」の参加意向が最も高いのは72.2%で20代女性。特に若年層の女性が「プレミアムフライデー」に前向きな姿勢を示した。男女比でも女性の方が多く、「プレミアムフライデー」が比較的、女性からの支持が厚い施策であることが見受けられる。

Qあなたは今後、「プレミアムフライデー」の日に、いつもより早く帰れる(退社できる)かどうかに関わらず、ちょっと豊かな時間を過ごしたいと思いませんか?(SA) ※性別、年代別に抽出。 n=2,015(全体)

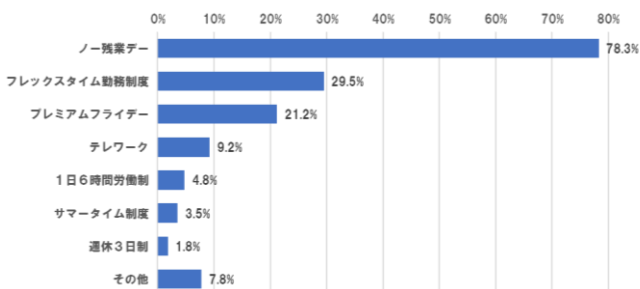


【「働き方改革」取り組み実態】

23.7%の人が「プレミアムフライデー」の導入を希望。「働き方改革」の取り組みとしては、「プレミアムフライデー」の導入率が第3位に。

既に導入されている「働き方改革」の取り組みとして、1位「ノー残業デー」78.3%、2位「フレックスタイム勤務制度」29.5%に次ぎ、「プレミアムフライデー」が21.2%で第3位となった。また、導入して欲しい取り組みとしても23.7%で、第4位となっている。「プレミアムフライデー」が「働き方改革」の取り組みの一つとして、期待を寄せられていることがうかがえる。

Qあなたの会社で導入されているものをお知らせください。(MA) n=600(対象)



Qあなたの会社に導入して欲しいもの・続けてほしいものをお知らせください。(MA) n=2,015(全体)

